

立上り立下りコーナー45°(RCF)取扱説明書

RCF

立面コーナーRCFの施工

RCFはジョイントレス施工(別売のジョイント用パーツを使用しない施工)と別売のジョイント用パーツを使用した施工(ジョイント施工)が可能です。

ダクトとの接続はジョイントレス施工、RCF同士の接続はジョイント施工といった混在も可能です。

※ジョイントの取り付け方法はジョイントの取扱説明書またはRD設計施工資料をご参照ください。

また、ろう付けなどの施工作業が容易に行えるように、側板(親桁)を取り外すことが可能になっています。

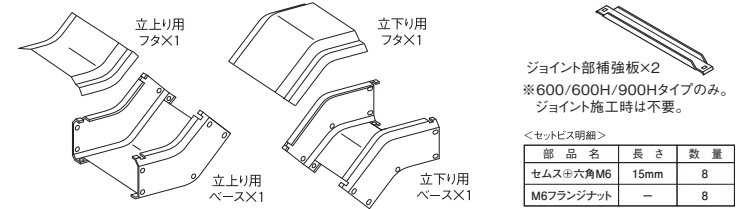
※ジョイント施工時

- ・900タイプに立面コーナー45° RCFはありません。
- ・150タイプに立面用架台固定板RZCはありません。

施工法	品名・型式	立面用架台固定板 RZC	
ジョイントレス [*] 施工 (150タイプを除く)	通常施工	立面コーナー45° RCF	必須
	側板外し施工	不可	—
ジョイント施工	通常施工	立面コーナー45° RCF	使用可(150タイプを除く) RSS使用時およびダクト挿入時は必須。
	側板外し施工	立面コーナー45° RCF (150タイプを除く)	必須

※ジョイント部には必ず架台を設置してください。

セット明細(各部名称)

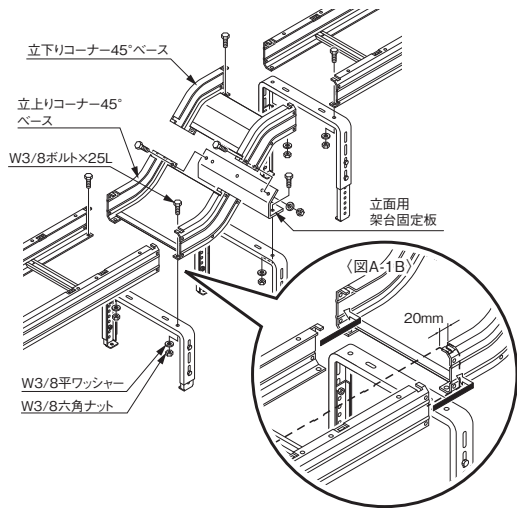


ジョイントレス施工

①ダクトの親桁およびコーナーパーツの親桁の端部同士が20mmずつ重なるようにはめ込み、親桁底部の重なった部分をW3/8六角ボルトで架台または立面用架台固定板に固定します。

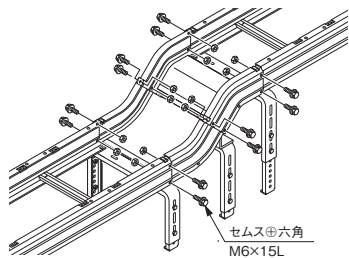
※ダクトを間に入れる場合の架台位置は図A-3B参照

(図A-1A)



②親桁端部の重なった側面部分をビス止めます。

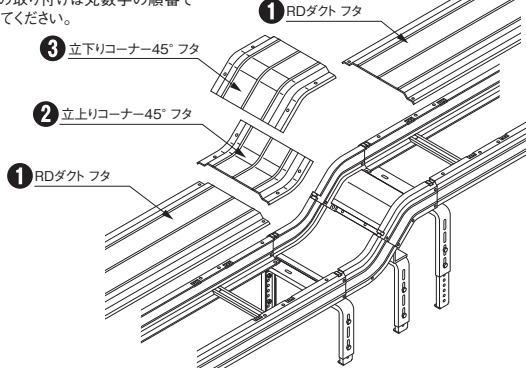
(図A-2)



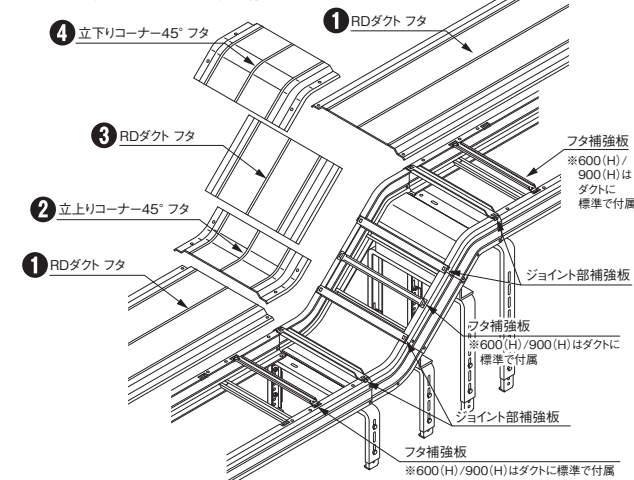
③配管後にフタを、雨水の浸入を妨げるように低い方から取り付けます。その際、下のフタに上のフタが20mmずつ重なるように取り付けてください。

※600(H)/900Hの場合は、ダクトとの接続部に付属のジョイント部補強板やダクトに付属のフタ補強板などを取り付けてください。図A-3B参照

(図A-3A) 300(H)/450(H)の場合
※フタの取り付けは丸数字の順番で行ってください。



(図A-3B) 600(H)/900Hの場合
※フタの取り付けは丸数字の順番で行ってください。

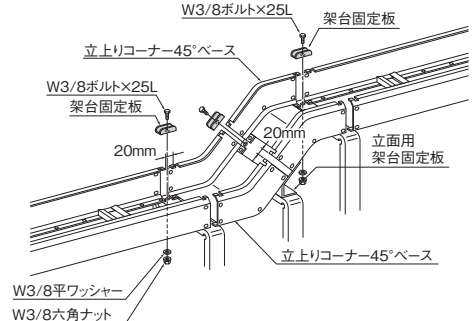


ジョイント施工

①接続部に20mmのすき間をあけ、架台固定板にてダクトとコーナーパーツをW3/8六角ボルトで架台または立面用架台固定板に固定します。

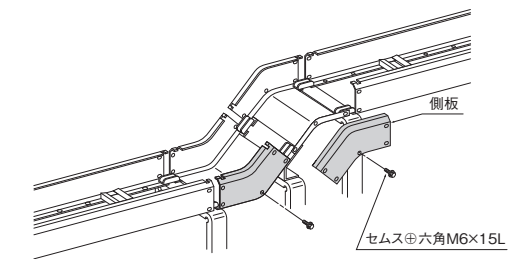
【注意】 スライドジョイント(RSS)を使用する場合はRSSの底板に立面用架台固定板を取り付けます。

(図B-1)



②ジョイント施工の場合は、側板を取り外して施工することが可能です。

(図B-2)



③配管後、側板を外した場合は側板を取り付け、ジョイントのベース(親桁部)を取り付けてフタを閉めて完成です。

【注意】 ジョイントベースのツメは上向きになるように取り付けてください。

(図B-3)

